

永く愛されるオフィスを目指して 中規模オフィスシリーズ「SUITE（スイテ）」を展開します

～「スイテ新御徒町」2025年春、「スイテ新横浜」2025年秋に竣工予定～

阪急阪神不動産株式会社では、中規模オフィスシリーズの名称を「SUITE（スイテ）」とし、今後、継続的にシリーズ展開することを決定しましたので、お知らせします。

阪急阪神のオフィスでは、2023年4月よりタグライン「もっと、つながる。もっと、ひろがる。」を展開しており、この「SUITE（スイテ）」のコンセプト「働く場に、おもてなしを。めざすのは永く愛されるオフィス。」は、上記のタグラインのもと、当社の中規模オフィスにおける事業思想を具体的に表現したものです。

2025年春に「スイテ新御徒町」、2025年秋に「スイテ新横浜」の竣工を予定しており、今後、首都圏において、年間2～3棟を目標に積極的に事業展開を行ってまいります。

「SUITE（スイテ）」の詳細は、次ページ以降のとおりです。



「スイテ新御徒町」の外観イメージ



「スイテ新横浜」の外観イメージ

「SUITE（スイテ）」について

■シリーズ展開への想い（コンセプト）

「働く場に、おもてなしを。めざすのは永く愛されるオフィス。」

働き方が大きく変わる現代は、オフィスの正解が見えにくい時代でもあります。そんな時代だからこそ、阪急阪神の中規模オフィスは、変わることのない私たちの価値観の“ど真ん中”から、最適な解を導いていきたいと考えました。阪急阪神のど真ん中とは「お客様原点」の精神です。関西圏を中心に100年を超えて重ねてきた、お客様の真の満足度を追求する街づくりやライフスタイルの提供。その想いとノウハウを、オフィスづくりへと注いでいきます。

私たちがめざすのは、永く愛されるオフィスをつくること。街の個性、多様な視点に寄り添い、働くシーンを思い描き、阪急阪神の「お客様原点」をかたちにします。

■名称の由来について

「どんどん好きになる」「好きがずっと続く」
そんなオフィスづくりをめざす私たちの姿勢を、動詞の「好く」の活用形である「好いて」を使って表現しました。

SUITE
ス イ テ

■特徴について

1. 「街ごとに仕立てるオフィス」

街の個性や立地の特徴を活かし、一つひとつのオフィスを仕立て、“街と人”のつながりを深めていきます。

「スイテ新御徒町」では、歴史的な街並みに馴染むようファサードや屋上テラスのデザインの一部に木材を採用しています。「スイテ新横浜」では、オフィスとしての風格を保ちながらも、ワーカーや来訪者にとって憩いの空間となるような屋外空間を計画しています。



2. 「多視点を取り入れたオフィス」

経営者とワーカーにとっての「働く場」の理想を追求し、その家族も安心して送り出せるオフィスをつくり、オフィスに関わるすべての人の満足度を高めていきます。テナントのニーズに応じた分割対応や、会議室・什器を設置したセットアップオフィスの提案、環境に配慮した設計、高い耐震性能やセキュリティの導入等を行っていきます。



3. 「シーンごとの機能が最適化されたオフィス」

出社する、集中する、リラックスする、交流する。
シーンごとの機能を最適化した、ワーカーに寄り添うオフィス空間をつくります。

集中できる執務空間はもちろんのこと、ワーカー専用ラウンジや屋上テラス、カフェやクリニック等のさまざまなサポート機能※を導入し、ワーカーの一日がより充実したものとなるよう計画します。



※物件により導入する施設、設備等は異なります。

■各物件の概要について（記載内容は現時点の計画段階のものです。）

スイテ新御徒町

所在地	東京都台東区台東4丁目3番4（地番）
交通	都営地下鉄大江戸線「新御徒町」駅徒歩1分 つくばエクスプレス「新御徒町」駅徒歩1分 東京メトロ日比谷線「仲御徒町」駅徒歩7分 東京メトロ銀座線「稲荷町」駅徒歩7分 JR「御徒町」駅徒歩8分
敷地面積	約590㎡
延床面積	約3,960㎡
各階面積	約460㎡（約140坪）
用途	事務所・店舗
構造・規模	鉄骨造、地上8階
設計・監理	株式会社INA新建築研究所
施工	未定
竣工	2025年春（予定）



スイテ新横浜

所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目7番8、7番9（地番）
交通	JR「新横浜」駅徒歩5分 相鉄・東急新横浜線「新横浜」駅徒歩2分 横浜市営地下鉄「新横浜」駅徒歩2分
敷地面積	約1,370㎡
延床面積	約13,200㎡
各階面積	約650～710㎡（約195～215坪）
用途	事務所・店舗
構造・規模	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 地上14階、地下1階
設計	株式会社松田平田設計 株式会社フジター級建築士事務所
監理	株式会社松田平田設計
施工	未定
竣工	2025年秋（予定）



以上

もっと、つながる。 もっと、ひろがる。

働き方の多様化がかつてない勢いで広がるなか、
これからのオフィスは、どんな価値を提供できるのだろう。
いま「阪急阪神のオフィス」は、新しい歩みを進めています。

私たちのオフィスは「人と人がつながる」ところ。
さまざまな出会いから、発想やバイタリティが湧き上がり、
働く人の笑顔やよろこびが生まれます。

1日の多くを過ごすこの場所は「人と企業がつながる」ところ。
働く人たちが快適で安全に過ごせる施設やサービスを通じて、
大きな安心感や誇らしさ、一体感を醸成します。

そして、多様なサービスや情報に触れられるオフィスは
「人と街がつながる」ところ。
にぎわいや地域との結びつきが楽しみや安らぎを生み、
仕事と暮らしの充実を支えています。

つながることで、さらにひろがる、オフィスの可能性。
そこから、明るい未来がひろがると信じ、
「阪急阪神のオフィス」は、変化を続けています。

阪急阪神のオフィス